

指田建設

〒350-1316
狭山市南入曾561
TEL042-959-3084
平成13年 2月

Vol.006

くら
庫ちゃん 大工通信
(2001年)

今日、とうさんは「現場」……
かわりに今回は、ぼくの出番で~す。
みなさま、お変わりないと思います。

お知らせ

ホームページの住所 (URL) が変更になりました。

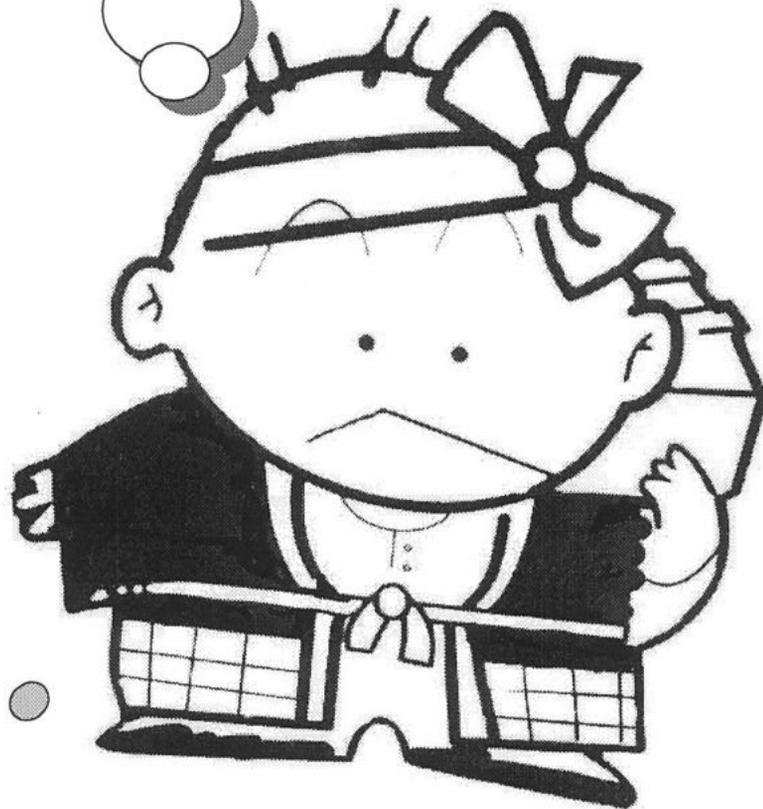
~~<http://watacino.com/sashida/>~~

<https://www.fp-sashida.net/>

※内容は、ひとつ // 更新していきます。

時々、見てくださいね!!

指田建設は、いつも
皆様の身近にあります。



かゆいとくろくに
手がとびく……

「家づくり」は「家族づくり」

みなさん!! **お元気ですか?**
うちも皆、元気です。

今月の3・4日に「F & Pの家、現場見学会」を開催しました。今年、休日になると天気が悪くなりましたが、両日とも天候に恵まれ多くの方に「F & Pの家」の性能を体感・経験していただきました。

両日は、仮設として「8帖用 エアコン」1台を「自動運転モード、設定20℃」で運転し、その状態のまま家全体の「温かさ」を取りました。

その様な中、3日の日は、風も無く穏かないちにちで1・2階とも太陽の陽ざしを取り込み室温が24~25℃になり窓を開けておく日でした。翌日は、晴れていたものの風が強く寒い日でしたが、室温は20~21℃で安定し時々 エアコン が自動停止する事もありました。

来場して頂いた方々からは、まずは「あっか~い...」、そして「足元も寒くない...」という言葉でこの家を実感していただきました。今は、まだ工事の途中です。

今回は、建物の断熱性や気密性による「あたたかさ」を感じていただきましたが、完成段階には、生活する上で欠かせない室内の「空気」を新鮮にしておくための「計画換気・風量チェック」をしていく予定です。

今後、「完成見学会」も予定しております。また、その時にはご自身の体感・実感をとおして「ご意見」をお聞かせ頂きたいと思っております。



Original Frame & Urethan Panel



万病のもと ヒートショックはこう防ぐ

一年で最も寒い季節になりました。この時期、度々話題にのぼるのが、温度差が引き起こす「ヒートショック」。原因は急激な温度の変化です。ヒートシ

ョックは、一歩間違えると命取りになりかねない怖いもの。この機会にヒートショックが起こるワケ、またその対処法などをご紹介しましょう。

ヒートショックって?

暖かい部屋から暖房のない寒い廊下へ出た時など、ヒヤッとすることがありますよね。このように急激な温度変化が身体に及ぼす衝撃のことをヒートショックと呼んでいます。



ヒートショックを防ぐには 家の中の温度差を極力なくすこと

ヒートショックを防ぐには、家の中の温度差を一定にすることが大切。一般の家は、床と天井の温度差が15度もあると言われています。それに対し「FPの家」は、床と天井の温度差がほとんどないばかりか、どの部屋もほぼ一定温度に保つことができます。ですからヒートショックになりにくく「FPの家にしてから長年思



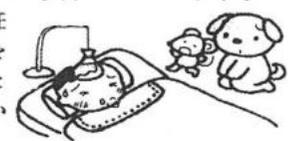
っていたリウマチが治った」という嬉しい声も寄せられています。

ヒートショックは 様々な病気を引き起こす万病のもと

ヒートショックは、血圧の急変動、脈拍数の急増などの症状を引き起こす原因とも言われ、特に高齢者や高血圧の人にとっては、心筋梗塞や脳血管障害などにつながり、命取りになりかねない恐ろしいもの。

また小さなヒートショックが繰り返されると指先の毛細血管が少しずつ切れ、リウマチ、神経痛、腰痛などを引き起こすとも言われています。

さらに不妊症や成人病を引き起こすとも言われています。



原因は、あなたの家の中にも潜んでいる

ヒートショックを起こしやすいのは、家の中で温度差がある所。「部屋と廊下の温度差が大きい」や「浴室の温度が低く、湯温や居室との温度差が大きい」など、急激な温度変化が生じる



場所に危険は潜んでいます。あなたの家は大丈夫ですか?